

## 第4章 環境影響要因及び環境影響評価項目の抽出

環境影響評価要因及び項目は、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年環廃対060904002号・環廃産060904004号）」及び「環境影響評価等についての技術的事項に関する指針（平成11年京都府告示第276号）」を参考に、以下のように選定した。

### 4-1. 環境影響要因の抽出

対象事業の実施に係る環境影響要因は、本事業に係る工事の実施、施設の存在及び供用において想定される事業活動の内容を検討し抽出した。その結果は表4-1.1に示すとおりである。

表 4-1.1 本事業の実施に伴う環境影響要因

環境影響要因	想定される事業活動の内容
施設の存在	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の存在により、景観の変化が考えられる。</li></ul>
施設の供用	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の稼働に伴い、煙突から大気汚染物質が排出される。</li><li>・ごみピット等から臭気物質が発生する。</li><li>・施設の稼働に伴い、騒音・振動が発生し、水質への影響が考えられる。</li><li>・搬出入車両の走行に伴い、大気汚染物質が排出され、道路交通騒音・振動が発生する。</li><li>・施設の稼働に伴い、廃棄物及び温室効果ガスが排出される。</li></ul>
工事の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の建設工事に伴い、大気汚染物質が排出され、騒音・振動が発生する。</li><li>・施設の建設工事に伴い、廃棄物及び濁水が発生する。</li><li>・工事用車両の走行に伴い、道路交通騒音・振動が発生する。</li><li>・施設の建設工事に伴い、陸生動物及び陸生植物の生息・生育環境が変化する可能性がある。</li><li>・施設の建設工事に伴い、地形・地質への影響が考えられる。</li></ul>

### 4-2. 環境影響評価項目の抽出

本事業の実施に伴う環境影響要因及び事業計画地周辺の地域特性を考慮して、環境影響評価を実施する項目を抽出した。環境影響要因と環境影響評価項目の関係及び環境影響評価項目を選定する理由及び選定しない理由は表4-2.1に示すとおりである。

表 4-2.1(1) 環境影響要因と環境影響評価項目の関係

環境項目の区分		環境要因の区分		環境影響要因の内容					選定する理由及び選定しない理由
				工事中		供用時			
				施設の建設工事	工事用車両の走行	施設の存在	施設の稼働	搬出入車両の走行	
評価されるべき環境要素	大気環境	大気汚染	二酸化硫黄				○		硫黄分を含んだ物の燃焼によって発生し、煙突排ガスに含まれるため選定する。
			一酸化窒素	○	○		○	○	物の燃焼によって空気中の窒素が酸素と反応して発生し、煙突排ガス、建設機械及び関係車両の排ガスに含まれるため選定する。
			二酸化窒素	○	○		○	○	物の燃焼によって発生し、煙突排ガス、建設機械及び関係車両の排ガスに含まれるため選定する。
			浮遊粒子状物質	○	○		○	○	物の燃焼によって発生し、煙突排ガス、建設機械及び関係車両の排ガスに含まれるため選定する。
			微小粒子状物質 (PM2.5)	○	○		○	○	物の燃焼などによって発生し、煙突排ガス、建設機械及び関係車両の排ガスにも含まれることから、情報収集を目的として選定する。
			塩化水素				○		プラスチック等のごみの焼却によって発生し、煙突排ガスに含まれるため選定する。
			ダイオキシン類				○		物の燃焼によって発生し、煙突排ガスに含まれるため選定する。
			浮遊粉じん量	○					造成工事により発生するため選定する。
			騒音	○	○		○	○	工事中には建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う騒音、振動による周辺環境への影響が考えられるため選定する。
			振動	○	○		○	○	供用時には、施設の稼働及び搬出入車両の走行に伴う騒音、振動による周辺環境への影響が考えられるため選定する。

※  … 廃棄物処理施設生活環境影響調査指針で示されている焼却施設に関する環境要因。

表 4-2.1(2) 環境影響要因と環境影響評価項目の関係

環境項目の区分		環境要因の区分		環境影響要因の内容					選定する理由及び選定しない理由
				工事中		供用時			
				施設の建設工事	工事用車両の走行	施設の存在	施設の稼働	搬出入車両の走行	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	悪臭 (特定悪臭物質、臭気指数、臭気強度)				○	○	煙突排ガスによる影響が考えられる。また、施設及びごみ収集車からの悪臭の漏洩に対する懸念があるため選定する。	
	水環境	水質 (水質汚濁、水の濁り(SS))	○			○		工事中には、降雨時における濁水の発生が考えられるため選定する。 供用時には、生活排水を処理した後、公共用水域に放流するため選定する。	
		水底の底質 (底質汚染)	○			○			
		地下水の水質及び水位 (地下水の水質、地下水の水位)						大量の地下水の汲み上げはなく、また、地下水の流水を遮断しないよう、地下構造物を設置するため選定しない。	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	地質・土壌環境	地形及び地質 (重要な地形・地質及び自然現象)	○					建設工事に伴い、地形の改変を行うため選定する。	
		地盤 (地盤沈下)						大量の地下水の汲み上げはなく、地盤沈下の可能性がないため選定しない。	
		土壌 (土壌汚染)				○		供用時には煙突排ガス中の汚染物質の降下による新たな土壌汚染の懸念があるため選定する。	
	その他の環境	日照障害						事業計画地に隣接して住居がないため選定しない。	
		テレビ電波障害						建築物等及び煙突のほとんどは事業計画地近傍の山に囲まれ、周辺環境への影響は小さいと考えられるため選定しない。	


※  … 廃棄物処理施設生活環境影響調査指針で示されている焼却施設に関する環境要因。

表 4-2.1(3) 環境影響要因と環境影響評価項目の関係

環境要因の区分 環境項目の区分		環境影響要因の内容					選定する理由及び選定しない理由
		工事中		供用時			
		施設の建設工事	工事用車両の走行	施設の存在	施設の稼働	搬出入車両の走行	
生物の多様性の確保及び自然環境の体型的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物 (重要な種・注目すべき生息地)	○		○	○		工事による地形の改変、及び施設の存在・稼働による動物及びその生息環境に与える影響が考えられるため選定する。
	植物 (重要な種及び群落、植物生育環境としての土壌)	○		○	○		工事による地形の改変、及び施設の存在・稼働による植物及びその生育環境に与える影響が考えられるため選定する。
	生態系 (地域を特徴づける生態系)	○		○	○		工事による地形の改変、及び施設の存在・稼働による生態系に与える影響が考えられるため選定する。
人と自然との豊かなふれあいの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観 (主要な眺望点及び景観資源並びに眺望景観)			○			供用時には、土地の造成、建築物等の存在により景観に変化が生じるため選定する。
	人と自然との触れ合い活動の場 (主要な人と自然の触れ合い活動の場)						事業計画地周辺には自然公園などの人と自然との触れ合い活動の場がないため選定しない。
環境への付加の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等 (廃棄物、建設工事に伴う副産物(残土等)発生土)	○			○		工事中には、建設に伴う廃棄物等が発生するため選定する。 供用時には、施設の稼働に伴い、ばいじん等の残渣物が発生するため選定する。
	温室効果ガス等 (温室効果ガス(二酸化炭素等) オゾン層破壊物質(フロン等))	○	○		○	○	工事中には建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う温室効果ガスの発生が考えられるため、環境影響評価項目として選定する。 供用時には、施設の稼働及び搬出入車両の走行に伴う温室効果ガスの発生が考えられるため、環境影響評価項目として選定する。
歴史的・文化的環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	歴史的・文化的景観 (主要な歴史的・文化的景観に係る眺望点及び歴史的・文化的景観並びに主要な歴史的・文化的眺望景観)			○			供用時には、土地の造成、建築物等の存在により景観に変化が生じるため選定する。
	文化財、埋蔵文化財包蔵地 (文化財、天然記念物等)						事業計画地には埋蔵文化財が存在しないため選定しない。